



令和6年8月6日
大臣官房参事官（上下水道技術）
（上下水道審議官グループ）

「緊急時に利用可能な可搬式浄水施設・設備」及び

「水道の管更生技術」に関する技術の開発に向けて技術実証に取り組みます

～A-JUMP 技術を新たに採択～

緊急時に利用可能な可搬式浄水施設・設備及び水道の管更生技術に関する技術を開発するため、令和6年度は、A-JUMP※¹で以下の技術のFS調査※²を行います。

令和6年度に着手するA-JUMPについては、民間企業や研究機関を対象とした公募を行い、学識経験者等で構成される水道革新的技術実証事業評価委員会による審査の結果、以下の3件の技術を採択することとしました（採択技術の概要は別紙参照）。

※1 A-JUMPプロジェクト：水道革新的技術実証事業（Aquatic Judicious & Ultimate Model Projects）

※2 FS調査：導入可能性調査（Feasibility Study）

<令和6年度 採択技術>

募集テーマ：緊急時に利用可能な可搬式浄水施設・設備

- ①事業名：災害時における応急浄水と応急給水の一体的運用に関する調査事業
- ②事業名：無電力運転が可能な高度浄水装置に関する調査事業

募集テーマ：水道の管更生技術

- ③事業名：水道管更生技術の要求性能項目の基準化

※事業の名称は各実施者からの提案によるもの。

<問い合わせ先>

大臣官房参事官(上下水道技術) (上下水道審議官グループ)

課長補佐 長谷川、技術係長 辻

TEL：03-5253-8111 [内線：34323、34318] 03-5253-8432(直通)

<令和6年度 採択技術の概要>

募集テーマ:緊急時に利用可能な可搬式浄水施設・設備

①事業名:災害時における応急浄水と応急給水の一体的運用に関する調査事業

実施者:(株)NJS・メタウォーター(株)・WOTA (株)共同研究体

概要:既存の応急浄水技術と水循環型応急給水技術を一体的に運用することで、革新的な応急浄水・応急給水システム(以下、本提案システム)を確立するための実現可能性を調査することを目的とする。

②事業名:無電力運転が可能な高度浄水装置に関する調査事業

実施者:(一財)造水促進センター・協和機電工業(株)・長崎大学共同研究体

概要:可搬式ナノろ過浄水装置の設計性能(処理水の水量と水質)を3か所(表流水、池、生活雑排水)の実証試験を通して明らかにする。さらに、電源供給がない場合を想定したナノろ過浄水装置の長期性能を検証する。

募集テーマ:水道の管更生技術

③事業名:水道管更生技術の要求性能項目の基準化

実施者:芦森工業(株)・中日コプロ(株)・大成ロテック(株)・(株)オール・中林建設(株)・(株)湘南合成樹脂製作所・(株)フソウ・管清工業(株)・アクアインテック(株)共同研究体

概要:水道管更生技術の適用範囲と要求性能項目について、一部実用化している管更生技術の実績データの収集・分析に加えて、既存規格や文献調査(漏水被害、地震被害等)、地方公共団体のニーズ調査を実施する。